



各 位

平成20年2月8日

クニミネ工業株式会社  
代表取締役社長 國 峯 保彦  
(JASDAQ コード番号 5388)  
問合わせ先 取締役総務部長 小山 孝志  
電話番号 03-3866-7255

## 平成20年3月期連結・単独業績予想の修正について

平成20年3月期(平成19年4月1日～平成20年3月31日)の業績予想について、平成19年11月16日付当社「平成20年3月期中間決算短信」において発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

### 1. 平成20年3月期連結業績予想の修正

(1) 通期(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	10,284	376	426	△ 55
今回修正 (B)	10,292	255	307	△ 134
増減額 (B-A)	8	△ 121	△ 119	△ 79
増減率	0.1%	△ 32.2%	△ 27.9%	—
前期(平成19年3月期)実績	10,288	△ 9	170	52

### 2. 平成20年3月期単独業績予想の修正

(2) 通期(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	10,284	371	371	210
今回修正 (B)	10,290	190	190	105
増減額 (B-A)	6	△ 181	△ 181	△ 105
増減率	0.1%	△ 48.8%	△ 48.8%	△ 50.0%
前期(平成19年3月期)実績	9,501	△ 6	154	110

### 3. 修正理由

売上高につきましては、ベントナイト事業部門は、鋳物関連向けは、自動車生産台数が輸出向けを中心に堅調に推移すること等により増収となる見込であります。土木建築関連向けは、改正建築基準法の影響により着工物件が減少、大型の一般廃棄物処分場向けの受注の減少もあって減収となる見込であり、ペット関連向けは、個人消費の伸び悩みを背景とした価格競争が激しい中、製造コストの上昇を価格に反映させたことによる落ち込みもあり減収となる見込であります。アグリ事業部門は、昨年度施行のポジティブリスト制度の影響により、当社で従来製造していた粒剤の受注が大幅に増加したこと等により増収となる見込であります。化成事業部門は、環境保全処理剤が市場環境の悪化により受注状況が厳しいこと等により、減収となる見込であります。全体としましては、連結は予想額より8百万円増の102億92百万円、単独は6百万円増の102億90百万円となる見込であります。

営業利益につきましては、原材料やエネルギー価格の値上がりを原材料等の見直しや価格改定によって吸収するなどして収益の改善に努めてまいりましたが、原材料やエネルギー価格の上昇が当初見込みより一段と厳しくなっております。そのため、連結は予想額より1億21百万円減の2億55百万円、単独は1億81百万円減の1億90百万円となる見込であります。

経常利益につきましては、営業利益の下方修正に伴い、連結は予想額より1億19百万円減の3億7百万円、単独は1億81百万円減の1億90百万円となる見込であります。

この結果、連結は、当期純損失が予想額より79百万円増の1億34百万円となり、単独は、当期純利益が予想額より1億5百万円減の1億5百万円となる見込であります。

※ 上記予想は、本資料の発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以上